

- ◆パチンコ主要機種レポート  
「牙狼魔戒」2割空席で稼働開始
- ◆パチスロ主要機種レポート  
ATタイプ、「牙狼魔戒」稼働開始の影響免れず



●エリアレポート/東京都 港区赤坂・渋谷区道玄坂

## 都心部で存在感をますます強める 日拓グループ

### TRIVIAL MARKET 我市場的瑣末主義

▼お客から見える仕事と見えない仕事がある。アンケートで意見を集めると、9割はお客から見える範囲の不満。つまり半径1m以内で起こることが原因で店に来なくなる。「玉が出ない」はもちろん、接客、箱の持ち方、灰皿の片づけ方や清掃の仕方など▼お客から見える仕事はほとんどが減点主義で、されて当たり前、不快感を与えれば来なくなるだけ。そして業界全体のレベルが上がれば、いつの間にかこれまで無かった接客も当たり前になり、ついていけなければサービスの悪い店になってしまう▼反対に、

お客に見える仕事で加点主義、つまり付加価値をつけた「ありがとう」と言われるようなサービスを実施すると、射幸性を煽る行為として内外から叩かれかねない。つまりパチンコ店では、お客に見える部分のサービスは常に減点主義を前提に商圏最高レベルを最低維持しつつ、お客に見えない部分の仕事で加点主義を取り入れることになる▼なんとなく相性がいい、雰囲気落ち着く、勝つ回数が多い気がするなど、なぜその店に行くのか理由を聞いてもお客自身が明確な理由を持たない。あえて言うなら「近いから」。脳の反応部位が違うからか。半径1m以内でできることと1m以上離れてできること (桜 vs-mail@vsearch.co.jp)

▼東京都港区赤坂 店舗の稼働状況

(調査日時: 2015年10月16日(金) 15:00~15:30)

店舗	区分	台数	客付き	稼働率
エスバス日拓 赤坂見附駅前 新館	P[4円]	311台	283人	91.0%
	PS[20円]	275台	102人	37.1%
	合計	586台	385人	65.7%
オリエンタル パサージュ 赤坂店	P[4円]	125台	11人	8.8%
	PS[1000円 47枚]	100台	13人	13.0%
	PS[5円]	83台	8人	9.6%
	合計	308台	32人	10.4%

※エスバス日拓赤坂見附駅前店は10月6日より休業中

エリアレポート 東京都 港区赤坂・渋谷区道玄坂  
都心部で存在感をますます強める日拓グループ

東京都内のターミナル駅周辺を中心に店舗を展開する日拓グループ(本社・東京都渋谷区)が本年度に入って活発な動きを見せている。上期には、4月24日に新規オープンした『マルハン新宿東宝ビル店』に対抗するため、新宿エリアのテコ入れを実施した。『エスバス日拓新宿歌舞伎町店』と『エスバス日拓西武新宿駅前』をリニューアルし、『マルハン』より少し早くオープンさせたのだ。特に設置台数876台の後者を、都内最大級の全館禁煙店舗に変更し、話題と

なった。同グループにとって新宿エリアは、グループ最多の3007台を展開することからも重要度が高い。今回の歌舞伎町エリアへのマルハン参入には容赦せず全力で対抗したという印象を受ける。下期に入り9月17日、新小岩駅前にある『エスバス日拓1300新小岩北口駅前店』の営業を39カ月ぶりに再開させた。オープンにあたってその設置台数を、都内でも最大級の1307台に増やし、ここでも注目を集めた。

▼『エスバス日拓赤坂見附駅前新館』がオープン  
そして10月7日、東京メトロ赤坂見附駅前に『エスバス日拓赤坂見附駅前新館』を新規オープンさせている。同駅前には既存店の『エスバス日拓赤坂見附駅前店』があり、その隣に新築した。既存店は『新館』オープンにあわせていったん休業させたが、『本館』としての再オープンを準備中である。2店舗体制となれば新宿と同様に、どちらかを全館禁煙店舗とする可能性がある。『新館』の設置台数は586台で、既存店とあわせると赤坂見附駅前の総台数は1169台となる。駅前商圏の設置台数が1000台を超えるのは、新宿、渋谷、上野、溝の口、新小岩についで赤坂見附が5つめとなる。

『エスバス日拓赤坂見附駅前新館』は3階建てのビルである。同グループのほとんどの店舗と同様に、自社ビルであるということが建築材料ともなっている。1階にパチンコ、2階にパチスロを設置。3階をトイレとスタッフロアとしている。低賃しコーナーは設置していない。1階の道路に面した部分をガラス張りとし、入口付近に設置した「CR牙狼魔戒ノ花」67台の別積みが通行人からもよく見えるようにしている。数百メートル南で『オリエンタルパサージュ赤坂店』が営業しているが、稼働状況を見る限り、『エスバス日拓』の独占市場と見なしにくいだろう。

永田町駅と接続する赤坂見附駅の周辺は、日本・東京の中枢部と言っても過言ではないが官庁街である。すぐ東に国会議事堂、西に迎賓館と東宮御所があり、南の赤坂、六本木にはテレビ局や上場企業のオフィスビルが立ち並ぶ。このエリアで働く人たちに現在のパチンコが受け入れられるのかどうか。今後の日本社会とパチンコの関係を占う意味でも、同店の稼働状況は注目されていだろう。

▼東京都渋谷区道玄坂 店舗の稼働状況

(調査日時: 2015年10月16日(金) 16:00~17:00)

店舗	区分	台数	客付き	稼働率
エスバス日拓 渋谷駅前新館	P[4円]	517台	320人	61.9%
	PS[20円]	401台	281人	70.1%
	合計	918台	601人	65.5%
エスバス日拓 渋谷本館	P[4円]	551台	214人	38.8%
	P[2円]	53台	12人	22.6%
	P[1円]	175台	127人	72.6%
	PS[20円]	252台	118人	46.8%
	PS[10円]	31台	11人	35.5%
	PS[5円]	104台	48人	46.2%
合計	1166台	530人	45.5%	
楽園 渋谷道玄坂店	P[4円]	358台	148人	41.3%
	P[1円]	199台	102人	51.3%
	PS[20円]	277台	90人	32.5%
	PS[5円]	54台	28人	51.9%
	合計	888台	368人	41.4%
マルハン パチンコタワー 渋谷	P[4円]	432台	128人	29.6%
	P[1円]	174台	79人	45.4%
	PS[20円]	287台	89人	31.0%
	PS[5円]	141台	29人	20.6%
合計	1034台	325人	31.4%	
ガイア 渋谷駅前店	P[4円]	375台	121人	32.3%
	P[1円]	127台	46人	36.2%
	PS[1000円 47枚]	378台	59人	15.6%
	PS[1000円 188枚]	24台	12人	50.0%
	合計	904台	238人	26.3%

※『エスバス日拓渋谷スロット館』は6月15日より休業中

▼『エスバス日拓渋谷スロット館』がオープン準備中

次に動きがあるのが、渋谷エリアである。日拓グループはこの商圏に『エスバス日拓渋谷駅前新館』『エスバス日拓渋谷本館』そして『エスバス日拓渋谷スロット館』の3店舗を展開しているのだが、本年6月15日より『エスバス日拓渋谷スロット館』を休業させていた。同店は今回調査日の10月16日金曜日より、再オープン時の入場整理券の配布を始めた。このエリアの『エスバス日拓』で強調されていたのは2355台という3店舗の合計台数である。休業前の『スロット館』の設置台数は323台、3店舗合計では2407台であったから、2355台になるといえることは、改装後の『スロット館』の設置台数を271台に減らすと推測される。どのような店舗となって再オープンするのか、たのしみである。

独占市場だった赤坂見附とは違い、渋谷には『楽園』『マルハン』『ガイア』といった競合店が存在する。だが少なくとも今回の調査時には『エスバス日拓』が競合店を圧倒していた。新宿での『マルハン』との競合でも『エスバス日拓』が優勢となっている印象を受ける。東京都心部における同グループのシェアが、ますます高まりつつある。(吉)